



磁石に学ぶ

磁じりょく力のある鉄とない鉄があります。どちらも「原子核」の周りを電子が回転しているのですが、磁石になっていない鉄では、この電子の回転する向きや軌道がばらばらなため、お互いに力を打ち消し合います。磁石にならないのは、一方、磁石になった鉄では、電子の回転する方向などが、きれいに揃っているため、磁力は互いに打ち消されることがなく磁石になるのです。

加美町では、3年前から東京での移住定住セミナーを単独で開催しています。今年1月21日、初の県北7自治体合同セミナーを開催することができました。本町は「音楽とアウトドア」に絞りプレゼンテーションを行いました。個別相談会には16組が参加しましたが、その内の30代のご夫婦が1週間後に訪ねてきました。職員は、かつて音楽活動をしていたご主人を国立音楽院宮城キャンパスへご案内しました。不思議なことがある

ものです。出迎えてくれた宮内先生は、8年前に袂を分かつたかつてのバンド仲間だったのです。音楽の道を諦め福祉の道に進んだYさんと、音楽活動を続けた宮内先生の人生が再び宮城キャンパスで交わったのです。特別な縁を感じたのでしょうか。加美町への移住を真剣に考えているようです。

日本で最も移住者の多い山梨県では、よそから来た人を見つけると、誰彼となく「ここはいいところだよ」と声をかけるのだそうです。子どもたちも、学校を訪問する家族の子どもを積極的に仲間に引き入れ一緒に活動するそうです。その様子を見て移住を決意する家族もいるようです。鍵は、移住者の受け入れという「原子核」を中心に、皆が同じ目的に向かって行動することのように思います。そのような地域は磁力を帯び、人を引き寄せるのです。

加美町長

猪俣洋文